

仙台高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	インターンシップ	
科目基礎情報							
科目番号		0050		科目区分		専門 / 選択	
授業形態		実習		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科		総合工学科 I 類		対象学年		4	
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材		必要に応じて指導員により指示される。					
担当教員							
到達目標							
校外実習を通して、企業等の生産現場や研究施設での体験による実践的知識・技術を習得し、座学と実学の差異を知ること。また、将来の進路等を決定するときの判断材料を得ること。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
取組姿勢		社会人としての常識や規範を十分に理解・実践し、誠実な態度で実習に取り組むことができる。		社会人としての常識や規範を踏まえ、実習に取り組むことができる。		社会人としての常識や規範を踏まえた姿勢で実習に取り組むことができない。	
発表		簡潔かつ視覚的表現を考慮したプレゼンテーション資料を作成でき、論理的で説得力のあるプレゼンテーションを行うとともに、適切な質疑応答をすることができる。		簡潔かつ視覚的表現を考慮したプレゼンテーション資料を作成でき、論理的で説得力のあるプレゼンテーションを行うことができる。		簡潔かつ視覚的表現を考慮したプレゼンテーション資料を作成できない、あるいは論理的で説得力のあるプレゼンテーションを行うことができない。	
報告書		正しい日本語で論理的にまとめられ、わかりやすい報告書を作成できる。		正しい日本語で論理的にまとめられた報告書を作成できる。		正しい日本語で論理的にまとめられた報告書を作成できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		長期休業中などに企業等の生産現場や研究部門で専門分野に関する実習を行う。就業体験を通して工学における学術応用の実際を体験するとともに、将来の就業意識を高める。					
授業の進め方・方法		実習に当たっては、社会人としての常識や規範に関する事前指導、実習企業等に関する事前調査を行う。研修は1～2週間程度の期間で行い、実習終了後には事後研修として報告書の作成と実習発表を行う。 インターンシップ先で指示された事前／事後学習内容に従うこと。					
注意点		4年前期迄での学習を基礎に、自主性、自律性、計画性を発揮して、各人のプロジェクトテーマにおける課題の解決に取り組んでほしい。指導員やプロジェクトグループのメンバーとのコミュニケーションを絶やさぬようにし、自らに課せられた責任を果たすように努力してもらいたい。 なお、実習先での評価がなされなかった場合、報告書40%、発表60%により評価する。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	※研修期間・内容は実習先により異なる		派遣先によって決定された実習を通して、実践的、発展的な技術力の基礎と思考力、問題処理能力を身につける。		
		2週			具体的な到達目標は各テーマで定められる。		
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週	実習報告会				
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					

		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	実習先での評価		発表	報告書	合計
総合評価割合	30		40	30	100
	30		40	30	100